

会議録

会議の名称	第8回 西東京市地域コミュニティ検討委員会
開催日時	平成26年10月30日(木) 午後6時30分～7時50分
開催場所	西東京市役所 田無庁舎 5階503会議室
出席者	委員：伊村委員(委員長)、笹沼委員(副委員長)、工藤委員、志村委員、井手委員、菅野委員、土方委員、丸山委員、伊藤(光)委員 事務局：生活文化スポーツ部長、協働コミュニティ課長、協働コミュニティ課市民活動推進係長、協働コミュニティ課市民活動推進係主任 オブザーバー：生活福祉課調整係長
新委員への委嘱	平成26年度9月末で、消防署の地域防災担当係長 伊藤(圭)委員が異動したため、後任委員への委嘱。
副委員長の互選	副委員長の消防署の伊藤(圭)元委員が平成26年9月末で異動したため、残任期の後任の副委員長を互選。
報告事項	(1) (仮称)地域協議体南部モデル地区会議について 1 第1回(9月25日)の開催結果について 2 第2回(10月10日)の開催結果について 3 第3回(11月11日)・第4回(12月9日)の開催予定について (2) 自治会・町内会等活性化補助金申請状況について (3) 第1回西東京市地域コミュニティ推進庁内会議について (4) 「地域いーな通信 第8号」について
議題	1 平成26年度地域コミュニティ検討委員会と(仮称)地域協議体南部モデル地区会議の進め方について 2 (仮称)地域協議体モデル地区会議の今後の進め方について
その他	(1) 次回検討委員会開催日について
傍聴者	1名
会議資料の名称	[資料1-1] 26年度(仮称)地域協議体南部モデル地区会議参加団体・「地域課題の抽出」の話し合い手順 [資料1-2] (仮称)地域協議体南部モデル地区会議(9月25日)各チームまとめ [資料1-3] (仮称)地域協議体南部モデル地区会議(9月25日)参加者の皆さんからのコメント [資料2-1] 話し合い手順 [資料2-2] (仮称)地域協議体南部モデル地区会議(10月10日)各チームまとめ [資料2-3] (仮称)地域協議体南部モデル地区会議(10月10日)参加者の皆さんからのコメント [資料3] (仮称)地域協議体南部モデル地区会議 今後のスケジュール [資料4] 自治会・町内会等活性化補助金について

	<p>[資料5] 平成26年度第1回西東京市地域コミュニティ推進庁内会議 要点記録</p> <p>[資料6] 地域い-な通信 第8号</p> <p>[資料7] 平成26年度地域コミュニティ検討委員会と(仮称)地域協議体南部モデル地区会議の進め方</p> <p>[資料8] 地域にあるコミュニティに関わる主な組織表(2014年10月28日現在)</p> <p>その他：第7回西東京市地域コミュニティ検討委員会会議録 次回の日程調整表</p>
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>開会</p> <p>委員長：</p> <p>平成26年度第8回西東京市地域コミュニティ検討委員会を開会する。</p> <p>(新委員への委嘱)</p> <p>平成26年度9月末で、消防署の地域防災担当係長 伊藤(圭)委員が異動したため、後任の同係長 笹沼政之氏に委員を委嘱した。</p> <p>(副委員長互選)</p> <p>消防署の伊藤元委員が副委員長だったため、後任の副委員長は、消防署の笹沼新委員が就任することを、出席者全員一致で承認した。</p> <p>(報告事項)</p> <p>(1) (仮称)地域協議体南部モデル地区会議について</p> <p>1 第1回(9月25日)の開催結果について</p> <p>○事務局：</p> <p>第1回(9月25日)の開催報告。</p> <p>第1回は、21団体参加。地域ごとに3つのグループに分け、「南部エリアの地域課題とは」というテーマでブレインストーミング法により話し合いを実施した。</p> <p>2つのグループの地域課題...「高齢者を把握するネットワークの活用」</p> <p>1つのグループの地域課題...「空き地を利用したコミュニティの場づくり」</p> <p>地域協議体の各団体コメントシート...協議体参加についてポジティブな意見の団体が大多数であった。</p> <p>2 第2回(10月10日)の開催結果について</p> <p>○事務局：</p> <p>第2回(10月10日)の開催報告。</p>	

第2回は、19団体参加。地域ごとに3つのグループに分け、「南部エリアをこんなまちにしたい」というテーマでブレインストーミング法により話し合いを実施した。

さらに、このテーマについて、各団体はどんな活動ができるか、さらに各団体毎はどのように連携協力し合えるかということについても協議した。

「南部エリアをこんなまちにしたい」という目標設定 (1)「子どもと高齢者の交流ができる場所が多いまち」 (2)「顔見知りがたくさんできるまち」 (3)「学校を活用したまちづくり」。

地域協議体の各団体コメントシート...協議体の年間回数については3回程度が多数意見。

「住んでいるまちについて考える真剣さ」「より良いまちにしていきたいという情熱」を感じとれた。この思いを実現するための1つの場として地域協議体を活用していきたいと考えていることが、事務局としてはよみとれたと考える。

○参加委員4名からのコメント：

(1)「これをどう展開させていくのか」「地域課題について考えていく会議がたくさんあるので、どうまとめていくのか」が今後の課題である。

(2)参加者の期待が感じられた。皆が燃えているうちにさっさとつくった方がよい。自治会は、協議体に期待している。

(3)地域課題の出し方等の協議方法がよかった。着々と迅速に進めていった方がよいと思う。

(4)顔合わせができ情報協力できた場だった。つなぐための場は、誰かプロデュースする人や場等のハブをつくらないと、形にならないと思う。

○事務局：

設立準備においては、キーパーソンの市民をつくることがとても大切であると考えている。

3 第3回(11月11日)・第4回(12月9日)の開催予定並びにモデル地区会議と委員会の今後のスケジュールについて

○事務局：

第3回・第4回の開催予定について説明

第3回 「学習会 視察・先進市地域協議会の事例研究」

- ・15年間の実績があり、自治組織として成熟している調布市の協議会
- ・当市と同規模の都心のベッドタウン

第4回 「楽しくトーク」

- (1) 調布市石原小学校地区協議会視察報告について
- (2) 西東京市(仮称)地域協議体設立予定について

○事務局：

モデル地区会議と委員会のスケジュールについて説明

モデル地区会議を当初予定の3回から4回開催に増やしたため、当委員会を2月上旬にし、4回開催から3回開催にしたいと考えている。

委員：

午後7時スタートで8時終了というのは会議の1部分を視察する予定なのか。

事務局：

「会議は1時間以内」というのが当協議会のモットーだ。長続きするための運営方針が「楽しく」「短く」ということなので、その点もとても参考になると考え、この協議会を視察先を選んだ。

(2) 自治会・町内会等活性化補助金申請状況について

○事務局：

自治会・町内会等活性化補助金申請状況について説明

10月28日現在

- ・申請団体数 41 団体
- ・申請団体割合 18 パーセント
- ・申請事業内容 1位 清掃 2位 祭り 3位 敬老イベント 4位 パトロール
- ・地域別申請数 1位 西部地区 2位 南部地区 3位 中部地区 4位 北東部地区

○委員：

防犯パトロールについて、危機管理室所管の助成と2重申請の自治会があるのか。

○事務局：

自治会独自事業についての助成なので重なっているものはない。危機管理室と2重交付にならないように、両部署で連携して必ずチェックをしている。

○委員長：

今年度の申請事例等を自治会に紹介し、申請数増加に今後ますます取り組んでいってほしい。初年度の申請数としてはまずまずではないか。

(3) 第1回西東京市地域コミュニティ推進庁内会議について

○事務局：

第1回西東京市地域コミュニティ推進庁内会議について説明
コミュニティ施策・団体に関する庁内情報共有・連携会議である。

- ・日時：10月23日開催
- ・内容：1 基本方針 2 コミュニティ検討委員会の検討経過報告 3 今後の地域コミュニティ施策 4 各課のコミュニティに関する課題の意見交換

(4)「地域いーな通信 第8号」について

○事務局：

「地域いーな通信 第8号」について説明

第8号のメイン情報... (1) 自治会・町内会等助成金申請スタート

(2) 自治会・町内会等懇談会開催レポート

5 報題

(1) 平成26年度地域コミュニティ検討委員会と（仮称）地域協議体南部モデル地区会議の進め方について

○事務局：

次回委員会は2月上旬開催予定である。

(2)（仮称）地域協議体モデル地区会議の今後の進め方について

○事務局：

（仮称）地域協議体モデル地区会議の今後の進め方について説明

南部地区の次に（仮称）地域協議体を設立する地域を、当委員会にお諮りしたい。

当初南部を1番最初の地区に選定した理由は、1 自治会数の多さ 2 異業種団体の多さの2点だった。

同じ理由で考えるのであれば、1 自治会の多さ、加入世帯数の多さでは、西部地域(61団体)である。

【自治会補助金申請率では、西部が南部をこえて第1位】2 異業種団体の多さでは、中部である【保谷高校・東大農場】

○委員長：

設立準備としては、南部同様にモデル地区会議を実施してから本格設立という手順になるのか。

○事務局：

行財政プランでは、H27年度から毎年1地域で1協議体を設立する計画になっている。しかしながら、きっちりと設立していくためには、モデルを実施しながら2年おきに設立していくのが現実的スケジュールだと事務局では考えている。

○委員長：

自治組織が多く、異業種団体が少ない地域で設立準備をすることも、南部と対比がてきめる点で面白いかもしれない。

西部の住居の特性は

○事務局：

ひばりが丘団地という大規模団地があるのが大きな地域特性でもある。集合住宅型自治会が多いとこ

ろが特色である。

委員長：

では、集合住宅等も多く住宅エリアということで、2番目の地域は西部でいかがか。

委員：

賛成

その他

(1) 11月8日(土)の市民まつりで自治会加入PRブース(地域に輪をかける輪投げ大会・自治会展示)を出すので、是非見に来てほしい。

(2) 次回検討委員会開催日について

○事務：

次回の検討委員会日程は、お手元の2月半の予定表に出欠のご記入をいただき、委員の参加数が多い日で決定することをご了承願いたい。

以上